

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユニシア		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日・土日に限らず、毎日異なる集団活動を取り組んでいる	全職員でイベント案を出し、様々なジャンルのイベントに取り組んでいる。 SNSや研修資料を活用し、常に新しい活動に取り組んでいる。 専門職員のアドバイスを取り入れ、手先や運動イベントに偏りが出ないように活動に取り組んでいる。	5領域を含めてねらいを明確にする。 子どもたちの要望を取り入れ、満足度の高い活動を提供する。 イベント振り返りを毎週行い、精度の高いイベント内容にしている。
2	個別療育(理学・作業)が充実している	平日は、集団療育に加えて個別療育にも取り組んでいる。 専門職員による視点で、発達レベルに応じた個別アプローチを行っている。	その日取り組んだプログラムと子どもの様子を、連絡ツールを利用して保護者様に共有している。
3	子どもの気持ちが崩れたときに職員同士で連携を取って対応できている	連絡ツールを使用し、職員間で子どもの共有を行っている。 職員同士の動きや配置を意識している。	気持ちが崩れたときの対応方法を職員間で共有して統一する。 それぞれの子どもに関して、毎日の朝礼と毎週末の会議で振り返りを行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	おもちゃの更新頻度が低い	小学生向けのカードゲームを増やしたが、取り組んでいる頻度が低い。 既にあるおもちゃを買い足してほしいという要望がよくあるため、同じおもちゃの数は増やしているが、新しいおもちゃを買い取る頻度は低い。	職員がカードゲームのルールを理解しておき、子どもたちと取り組む回数を増やすことで、子ども同士でも取り組めるようにしていく。 カードゲームなど使用頻度が低いおもちゃを平日の集団活動に取り入れる。
2	トイレの場所が2階にある ボールを使った活動が十分にできる広さがない	建物の構造上、1階にあるプレイルームと2階にあるトイレが離れており、プレイルームが1部屋しかないため、仮設トイレを作ることも不可能。 1つのプレイルームで遊びや学習などに取り組んでいるため、広いスペースを必要とする活動を行うことが難しい。	トイレまで職員が見守りでついていく。 防犯カメラを活用して子どもの様子を把握する。 ラケットやボールを使用する広いスペースが必要な活動をする際は、施設周辺の公園で行う。
3	プレイルームが1つのため、 学習場所と遊ぶ場所が一緒になっている	事業所内にプレイルームと小部屋の2部屋はあるが、小部屋は個別療育で使用しているため、平日は学習場所として確保することが難しい。	パーティションやイヤーマフを使用する。 学習と遊びを同時に行う時のルールを作って、子どもたちに周知するなど、遊んでいる子どもが勉強をしている子どもに対して配慮ができるような環境設定をする。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	ユニシア					公表日	2026年3月1日				
					利用児童数	21		回収数	11		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	0	0	人数によっては少し狭くなるかなと思う	平日はお勉強とそれ以外の活動スペースを分け、運動遊びでは、個別部屋の活用や公園に行き活動しています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	2	実際の人数は見えていないのでわかりません	適正配置基準を満たすように勤務日程を組んでいますのでご安心ください。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0	モニタリング時に詳しく聞いていただいているので、支援は的確だと思います	保護者様のニーズとお子様の意見を踏まえたうえで、支援計画を作成しております			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	子どものペースに合った支援だと思います	無理のない範囲で成長をサポートし、楽しく通所できるよう心掛けております			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0	イベント・ミニイベント、毎回いろんな内容で季節感を感じます	季節の移り変わりを感じられるイベントを企画し、楽しく参加できるように心緒掛けております			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	5					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0	いつも送迎時に毎日に様子を詳しく伝えていただいています 体調についても気になる点を毎回言わなくても、リズムに記入してもらっています	イベントでの様子や日々の成長をお伝えし、保護者様への安心していただけるように心掛けております。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	0	5						

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	相談や申し入れは次の利用日までにはきちん返答してもらっていますので、助かっています	相談内容に関しましては、職員一同で共有し、お返事しております。これからも安心して通所してもらえるように心掛けてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	1	イベントの様子は毎回ラインで送っているのですが、お返事して下さるので、嬉しく思います	写真や動画をういて、口頭では伝えきれないお子様の表情や様子などをお伝えさせていただきますいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	時々「嫌い」と言いますが拒否はなく、先生の名前を言うと「マル！」と言っています	これからも安心して通所してもらえよう支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	「今日〇〇くん！」と言って、お友だちと会うのを楽しみにしています	お友だちとの関わりの中で生まれる成長をサポートさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	車が来たら喜んで飛び乗り帰りは車が動くのを見送っています。安心して楽しく過ごさせていただきありがとうございます	ありがとうございます。これからの楽しく通所してもらえよう支援してまいります。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ユニシア		公表日		2026年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	人数が多い時は怪我をしないように遊ぶ内容を変えている。	スペースが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	空気清浄機を置いている。 毎日手が触れるところなどのアルコール消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		部屋数が足りていない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	朝礼時に個別支援計画の目標を確認する時間を作っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	平日のミニイベントは、日替わりでプログラムを組んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		記録はしているが十分ではないと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	4	連絡調整のみを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	6		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6		移行している子がいない。 今まで該当する利用者がいなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		移行している子がいない。 今まで該当する利用者がいなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡ツールを使って職員がすぐ確認することが出来るように全体共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		